

海外感染症流行情報 2026 年 4 月

(1) 全世界: インフルエンザと COVID-19 の流行状況

インフルエンザの患者数は、4 月時点で世界的に減少しています (WHO global influenza program 26-4-23)。COVID-19 についても、北半球の冬の流行は収束しました (WHO COVID-19 dashboard 26-3-24)。ウイルスの種類は、BA.3.2 型が日本を含む世界各地で増加傾向にあり (国立健康危機管理研究機構 ARI 週報第 15 週)、北半球の今夏の流行で拡大するかが注目されています。

(2) アジア: 日本やバングラデッシュで麻疹患者が増加

今年は日本の麻疹患者数が 4 月中旬までに累積で 299 人にのぼっており、昨年の年間患者数 (265 人) を超えました (国立健康危機管理研究機構 26-4-21)。海外からの輸入事例は 30 人で、感染国はインドネシア (12 人) が多くなっています。今年は国内感染例も多く報告されており、4 月中旬には都内の小学校で 18 人の集団感染が発生しました (東京都保健医療局 26-4-21)。

アジア各地でも麻疹の流行が報告されており、バングラデッシュでは 3 月中旬から 4 月中旬までに 2 万人近い疑い患者が発生し、100 人以上が死亡しました (WHO DONs 26-4-23)。患者の大多数は 5 歳以下の小児で、首都ダッカなどでの発生が多くなっています。

(3) アジア: デング熱の流行状況

東南アジアでは 4 月時点でデング熱患者数の大きな増加はありません (WHO 西太平洋 26-4-16)。ただし、ベトナムでは昨年より患者数が増えています。南アジアでは、モルジブで今年初頭から患者数が増加しており、4 月中旬までに 1900 人以上にのぼっています (WHO 南東アジア 26-4-22)。同国には

日本からダイビングなどで訪れる観光客が多く、滞在中は蚊に刺されない対策をとってください。

(4) アジア: インドネシアでのジカ熱流行

フランス保健当局は、25年7月から26年3月にかけて、インドネシアのバリ島から帰国した旅行者11人がジカ熱に感染していることを報告しました(ヨーロッパ CDC 26-4-17)。ジカ熱は蚊に媒介される感染症で、発熱や発疹を起こすとともに、妊娠中に感染すると胎児の健康に影響を及ぼすことがあります。バリ島には日本からの観光客も多く、妊娠中の人滞在中の場合は蚊に刺されない注意をしてください。

(5) 北米: 米国で麻疹流行が続く

今年は米国でも麻疹の流行が発生しており、4月下旬までに患者数は1800人近くになっています(米国 CDC Measles 26-4-24)。現在、西部のユタ州や南部のテキサス州などで患者発生が増えています。今年は6月から全米各地でサッカーの世界選手権大会(FIFA ワールドカップ)が開催されるため、流行がさらに拡大する可能性があります。日本から米国に渡航する場合、ワクチンを2回受けていない人は、出国前にワクチン接種を受けておくことをお勧めします。

(6) オセアニア: オーストラリアでジフテリアの患者数増加

オーストラリアでは、西部のキンバリーでジフテリアの患者が今年になり30人以上発生しています(ProMED 26-4-23)。北部準州でも10人の患者が報告されています(ProMED 26-4-8)。ジフテリアは呼吸器症状や皮膚症状を起こす細菌感染症で、患者の飛沫を吸い込んだり、皮膚に接触したりして感染します。今回の患者の多くは皮膚症状のあるタイプとのこと。日本ではほとんどの人がジフテ

リアのワクチン接種を乳幼児期に受けており、現地で感染するリスクは低いと考えます。